

## 風が強いとき

### 路上では

強風で看板が飛んだり、街路樹などが倒れたりする危険があります。近くの頑丈な建物に避難を。ただし、雨を伴う強風のときには、地下室や地下街に逃げ込まないようにしてください。



### 屋内では

風圧や飛来物で窓ガラスが割れ、破片が吹き飛ばすことがあります。内側からガムテープを貼り、カーテンを閉めておきましょう。風が強いうちは窓に近づかないようにしてください。



### 海辺では

海への転落や高波に巻き込まれる危険があります。また、高潮の恐れもあるので、速やかに高台へ避難しましょう。強風や豪雨のときには、警報が聞こえないこともあるので十分に注意してください。



## 停電に備える

懐中電灯や携帯ラジオの予備電池を準備しましょう。

- ・車への給油は済ませておく
- ・携帯電話の充電をしておく



## 防災知識の普及

防災対策においては、まず住民一人ひとりが防災に関心を持ち、準備することが重要です。地域に防災知識を普及させるため、みんなが集まって楽しいイベントなどを開催してみましょう。



## 断水に備える

飲料水を確保する。また、浴槽に水を張るなどして、洗濯などの生活水の確保も。



## 防災巡視・防災点検

防災の基本は、自分の住むまちを良く知ることです。地域内の危険箇所や防災上の問題点を洗い出し、対策を考えておきましょう。



# 自らの判断で避難行動を

## 危険を感じたらすぐ避難

近年、台風による大雨などにより逃げ遅れた住民が被害を受けるケースが多くあります。特に突発的な集中豪雨では、避難指示等の発令が間に合わないこともあります。避難指示等が発令されなくても、危険を感じたら避難行動をとってください。大切なことは「自分で判断する」ということです。

風水害では事前に気象情報等入手することができるため、正しい情報の入手と早めの避難行動が重要です。



### 「命を守る避難行動」水平避難と垂直避難

大雨のときには、優先①、優先②のように早めに安全な場所へ避難する「水平避難」が原則です。しかし、夜間や急激な雨などで家の外に避難することが、かえって命に危険を及ぼしかねない時は、がけや川から離れた2階以上のより安全な場所へ移動し安全確保「垂直避難」することが重要です。

## 避難判断のポイント

### 大雨のときには早めに

土砂災害警戒区域に住んでいる人は、大雨の際や土砂災害警戒情報が発表されたとき。



### 暗くなる前に

夜間に大雨が予測される際には、暗くなる前に避難することがより安全です。高齢者など要配慮者がいる場合は、移動時間を考えて早めに行動しましょう。



### 避難に関する情報が発令された時

市から警戒レベル3 高齢者等避難、警戒レベル4 避難指示が発令されたとき。



## 「マイ避難所」の検討

- 避難先は、公共施設ではありません。自分に適した避難先をあらかじめ検討します。
- 台風などの一過性の災害に限り、感染症防止の観点から3密を避けるために車両避難も有効です。ただし、豪雨時の移動は危険であるとともに、立体駐車場などの浸水しない場所を選ぶなど、周囲の状況を十分確認します。



# ペット避難

## ペットの受入れ

令和元年台風第19号では、過去最大の約5,000人の市民が避難所へ避難した一方、自宅にペットがいるために避難しなかった人が多くいました。

市は、「生命あるものを大切に」、「逃げ遅れを防ぐ」という観点から、令和4年2月1日から、災害時などに開設する全ての避難所でペットの受入れを開始しました。

なお、開設する避難所は、P29の避難所予定施設となります。

## 受入れ可能なペットの種類

ペットのうち、犬・猫・小動物等で、飼い主の責任において飼育できるもの

※環境省で定める特定動物(危険な動物)、爬虫類、魚類などのヒーター、エアポンプなど付帯設備を必要とする動物の受入れはできません。



## 受入れ可能なペットの条件

①ケージや容器を持参し、その中で生活ができること。また、容器に入らないペットについては、リードで係留できること。

※所有者が分かるようにケージ、容器、リードに名前を明示しましょう。

②ペット用のフード、水、トイレ用品などの生活用品を用意していること。

### 〈犬について〉

犬の場合は上記の条件に加えて、鑑札・狂犬病予防注射済票が装着されていることが受け入れ条件です。なお、疾病などで狂犬病予防注射を受けられなかった犬については、動物病院で発行される「狂犬病予防注射猶予証明書」をご提示ください。

## 避難のイメージ

避難所には、動物が苦手な人、アレルギーがある人などの様々な人が集まるため、ペットは避難所内のペット専用スペースでケージなどで飼い主が管理します。市の避難所に行くときは、ペットフード、水などの持ち出し品を持参してください。被害状況が落ち着いた後は、帰宅します。自宅に居住できない場合は、ペット避難所として運営される北部公園体育館に移動します。



# 立体駐車場への避難

## 立体駐車場への避難

市では、令和元年台風第19号での教訓を踏まえ、相模川の氾濫のおそれがある場合に、市民などが車両などで緊急避難できる場所を確保するため、市内の立体駐車場などを有する企業に約7,500台分の駐車スペースを無料で開放していただく、「水害時緊急避難場所としての駐車場の一時使用に関する協定」を締結しました。

立体駐車場などへ避難するときには、食料や飲料のほか、トイレ袋を持っていきましょう。また、エコノミークラス症候群の予防に弾性ストッキングなども用意しておきましょう。

## 水害時緊急避難場所

### 協定締結店舗位置図



### 注意事項

水害時緊急避難場所は、城山ダムが緊急放流を行う恐れがある場合のみ、開放します。通常の雨や台風では利用できませんのでご注意ください。

令和4年7月現在

店舗名(企業名)	住所	駐車台数(2階以上)
1 フラワーランド海老名店 (株式会社フラワーランド)	柏ヶ谷419-1	127台
2 ららぽーと海老名 (三井不動産株式会社)	扇町13-1	1,660台
3 ビナフロント (株式会社小田急SCディベロップメント)	中央1-2-2	65台
4 ガイアネクスト海老名駅前店 (株式会社ガイア)	中央1-3-1	250台
5 ビナウォーク (株式会社小田急SCディベロップメント)	中央1-4-1	1,230台
6 イオン海老名店 (イオンリテール株式会社)	中央2-4-1	890台
7 ダイエー海老名店 (株式会社ダイエー)	中央3-2-5	521台
8 キコーナ海老名店 (アンダーツリー株式会社)	河原口4-5-6	699台
9 島忠海老名店 (株式会社島忠)	大谷北1-1-1	331台
10 フードワン海老名店 (株式会社三和)	本郷1568-1	344台
11 ニラク海老名本郷店 (株式会社ニラク)	本郷2410-1	452台
12 かしわ台スクエア駐車場 (株式会社相鉄アーバンクリエイツ)	柏ヶ谷571	233台
13 エイビイ海老名店 (株式会社エイビイ)	泉2-5-1	189台
14 アピバ海老名店 (株式会社アピバ)	中央2-9-55	555台
合計		7,546台